

FD

本棚から



「大学授業の病理 FD批判」

宇佐美 寛 著
東信社 (2004.06.20)

FD部門・授業評価部門委員長 池田 勝彦

書名は過激である。内容については、表現において「過激」である部分もあるが、その中身は「ごもっとも」という場合が多い。第1章の「講義をやめよう」、第2章の「私語の病原は〈講義〉である」などは、一方的なお話（講話）の授業を「講義」と定義して、双方向授業が重要であるということを強調しているといえる。FD活動の中心的な取組である「学生による授業評価アンケート」については痛烈に批判しておられる。つまり、未熟な学生（授業が出来ない者）に授業を評価できる能力があるとは認めることはできないという点から、授業評価アンケートの意味無きものとぼっさりと切り捨てられている。また、宇佐美先生が実践された授業についても具体的に述べられており、非常に興味深い内容が盛りだくさんな本である。FD活動を推進する者（させられている者）に対してはかなり耳に痛い内容も確かにあるが、大学で教員をしている者としては、一読の価値は充分にあると思う。ただ、書の内容を実践されようとする先生方は、まず宇佐美先生がお持ちのオーラが自分にあるかないかを問いかけ、じっくり検証してからがよいように思う。

(化学生命工学部教授)

活動記録

2007. 6.20	第13回 FDフォーラム開催
2007. 7. 6	平成19年度第4回 FD部門・授業評価部門委員会
2007. 9.21	「TAを活用した授業」開始
2007. 9.25	平成19年度第5回 FD部門・授業評価部門委員会
2007.10.15	平成19年度第6回 FD部門・授業評価部門委員会
2007.11. 8～11.21	平成19年度 公開授業週間
2007.11.12	平成19年度第7回 FD部門・授業評価部門委員会
2007.11.21	第14回 FDフォーラム開催
2007.11.24～12. 7	2007年度 秋学期「学生による授業評価」アンケート実施

FD部門・授業評価部門委員会委員

部門委員長 池田 勝彦 化学生命工学部教授

委 員	藤原 稔弘	法学部教授	楠田 雅治	システム理工学部教授
	黒田 一充	文学部教授	池永 直樹	環境都市工学部准教授
	北原 聡	経済学部准教授	山根 繁	外国語教育研究機構教授
	笹倉 淳史	商学部教授	川口 美貴	法務研究科教授 (H19.9.30まで)
	池内 裕美	社会学部准教授	村田 尚紀	法務研究科教授 (H19.10.1から)
	亀田 健二	政策創造学部教授	石川 勝彦	教務センター授業支援グループ長
	谷本 奈穂	総合情報学部准教授		